

歯科口腔保健に関する施策の実施状況報告

目 次

平成 30 年 7 月

I . はじめに -----	1
II . 神戸市歯科口腔保健推進検討会（条例第 7 条） -----	2
III . 神戸市歯科口腔保健推進懇話会（条例第 9 条） -----	3
IV . 「こうべ歯と口の健康づくりプラン」の取り組み状況 -----	4
ライフステージに着目した施策の展開（第 7 条）	
1 . すべてのライフステージにおける取り組み	
2 . 妊娠期	
3 . 乳幼児期（0～5歳）	
4 . 学齢期（6～17歳）	
5 . 若年期（18～39歳）	
6 . 壮年期（40～64歳）	
7 . 高齢期（65歳以上）	
分野別にみた施策の展開（第 7 条） -----	19
1 . 障害者への歯科保健医療対策	
2 . 地域包括ケアに向けた取り組み	
3 . 救急医療対策（歯科）	
4 . がん対策（口腔がん）	
5 . 周術期（手術前後）などの取り組み	
6 . 災害時における歯科保健医療対策	
計画の指標 -----	27
市内での取り組み -----	28

平成30年度の取り組みは、平成30年6月末現在（予定含む）

I . はじめに

歯と口の健康は、全身の健康を保持する上で、基礎的かつ重要な役割を果たしている。国では、歯科口腔保健の推進に関する法律（平成 23 年）に基づき、歯科口腔保健を推進している。

本市においては、誰もが生涯にわたって切れ目なく必要な歯科保健医療を受けることができる環境を整備するため、平成 28 年 11 月 8 日に神戸市歯科口腔保健推進条例を施行した。

条例制定を受け、2つの有識者会議を設置するとともに、平成 29 年度より口腔保健支援センターを設置して体制を強化した。平成 30 年 4 月には、歯科医療等関係者および保健医療等関係者、市民の意見を反映した「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第 2 次）」を策定した。

この度、条例第 11 条に基づき、本市における歯科口腔保健に関する施策の実施状況について報告する。

Ⅱ. 神戸市歯科口腔保健推進検討会（条例第7条）

市歯科医師会役員、9区歯科医師会会長他、歯科医療等関係者に参加して頂き、地域での取り組みや課題、今後の対策などについて議論頂く。

神戸市歯科口腔保健推進検討会 委員名簿

◎ 会長 (選出分野別 敬称略)		平成29年12月1日現在
所属	氏名	
学識経験者 ◎ 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科 教授 (兵庫県病院歯科医会 会長)	足立 了平	
神戸市歯科医師会 会長 専務理事 常務理事 常務理事 常務理事 常務理事	安井 仁司	
	百瀬 深志	
	池端 幸成	
	杉村 智行	
	北上 仁司	
	高見 敏昭	
病院歯科 神戸市立医療センター中央市民病院 歯科・歯科口腔外科 部長	竹信 俊彦	
各区歯科医師会 東灘区歯科医師会 会長 灘区歯科医師会 会長 中央区歯科医師会 会長 兵庫区歯科医師会 会長 北区歯科医師会 会長 長田区歯科医師会 会長 須磨区歯科医師会 会長 垂水区歯科医師会 会長 西区歯科医師会 会長	岩本 正人	
	片野 清	
	三代 知史	
	神原 修	
	西尾 嘉高	
	中塚 要	
	定政 規夫	
	田口 雅史	
	薩摩 佳秀	
兵庫県歯科技工士会 会長	宅見 満	
兵庫県歯科衛生士会 会長 副会長	上原 弘美	
	岩崎 小百合	

開催日程

- ① 第1回 平成29年4月11日(火)
- ② 第2回 平成29年7月20日(木)
- ③ 第3回 平成29年10月11日(水)
- ④ 第4回 平成29年12月8日(金)
- ⑤ 第5回 平成30年3月14日(水)

主な議題

- ① 口腔保健支援センターの設置について
- ② 「こうべ歯と口の健康づくりプラン」の取り組み状況について
- ③ 「こうべ歯と口の健康づくりプラン」の改訂について
- ④ 「こうべ歯と口の健康づくりプラン(第2次)」案について
- ⑤ 口腔がん検診事業について
- ⑥ 訪問口腔ケア事業について

Ⅲ. 神戸市歯科口腔保健推進懇話会（条例第9条）

歯科医療等関係者、保健医療等関係者、および市民代表など、さまざまな立場から広く意見を頂き、神戸市の歯科口腔保健に関する重要事項について議論頂く。

神戸市歯科口腔保健推進懇話会 委員名簿		
◎ 会長（選出分野別50音順 敬称略） 平成29年12月1日現在		
	氏名	所属等
学識経験者	足立 了平	神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科 教授 （兵庫県病院歯科医会 会長）
	◎ 天野 敦雄	大阪大学 大学院歯学研究科長 歯学部長 教授
	伊藤 篤	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授
	三宅 達郎	大阪歯科大学 口腔衛生学講座 主任教授
歯科医療等関係者	上原 弘美	兵庫県歯科衛生士会 会長
	神原 修	神戸市歯科医師会 副会長
	竹信 俊彦	神戸市立医療センター中央市民病院 歯科・歯科口腔外科 部長
	広瀬 武久	兵庫県歯科医師会 専務
	安井 仁司	神戸市歯科医師会 会長
保健医療等関係者	伊藤 清彦	神戸市薬剤師会 会長
	置塩 隆	神戸市医師会 会長
	中野 則子	兵庫県看護協会 会長
	西 昂	神戸市民間病院協会 会長
民間各種団体の代表者	津田 佳久	神戸商工会議所 総務部長
市民代表	小林 佳代子	ネットモニター公募委員
	服部 貴美子	市民推進員
兵庫県	時岡 早苗	兵庫県健康増進課 歯科口腔保健担当参事
神戸市	北 徹	神戸市医療監

開催日程

- ① 第1回 平成29年8月23日（水）
- ② 第2回 平成29年12月26日（火）
- ③ 第3回 平成30年3月29日（木）

主な議題

- ① 「こうべ歯と口の健康づくりプラン」の取り組み状況について
- ② 「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）」案について
- ③ 平成30年度新規事業について

IV. 「こうべ歯と口の健康づくりプラン」の取り組み状況

ライフステージに着目した施策の展開

1. すべてのライフステージにおける取り組み

(1) 推進方策・事業展開

食事や会話を楽しむなど、豊かで健やかな社会生活を送るためには、かむ・飲みこむ・話すなどの口の機能が大きな役割を担っています。口の機能を維持するには、むし歯や歯周病を予防して**8020**（はちまるにいまる：80歳で20本以上自分の歯を残すこと）を達成し、オーラルフレイルを予防することが重要です。

「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）」の目標として、「生涯、自分の口でおいしく食べる」、「口の健康から全身の健康づくり」および「健康格差の縮小」を掲げ、歯科口腔保健を推進していきます。新たな施策展開として、「科学的根拠に基づいた施策」や「健康寿命の延伸」の視点に基づき、すすめていきます。

すべてのライフステージに共通した取り組みとして、「かかりつけ歯科医を持ち、定期的に受診する」、「歯垢をとる（プラークコントロール）」、「フッ化物を利用する」、「噛ミング30（カミングサンマル）」、「たばこを吸わない」の5項目を広く情報発信していきます。

(2) 平成29年度の実績

歯科口腔保健推進条例にもとづき、歯と口の健康づくりについて啓発を行います。

① 「神戸市歯科口腔保健推進条例」制定1周年記念行事

新規

条例制定1周年記念として、区歯科医師会（中央・北）において、歯科口腔保健啓発イベントを実施しました。

② くちビルディング選手権 in こうべ福祉・健康フェア

新規

第28回こうべ福祉・健康フェアにおいて、グッドネイバーズカンパニーの協力のもと、来場者に口の機能に関心を持ってもらうため、ストローを使ったゲーム、唇の力の計測、アンケート調査などを実施しました（参加総数156人、アンケート回収144件）。



くちビルディング選手権 in こうべ福祉・健康フェア（平成29年10月1日）

③ 広報紙KOB Eでの歯科保健啓発記事

広報紙KOB E 5月号のおたより欄に「歯周病は全身病、年に1回は歯科健診」とし、歯周病と生活習慣病との関係、市の無料の歯科検診の紹介をしました。



広報紙KOB E（平成29年5月号）

④ 「こうべ歯と口の健康づくりプラン」の啓発

◆中央図書館での展示

中央図書館において「お口の中、きれいにしている？」展を開催し、関連図書の展示やポスターの掲示により、歯科口腔保健の啓発を行いました。

◆みなとギャラリーなどでの展示

みなとギャラリー（みなと銀行本店）・花時計ギャラリー（さんちか）において、神戸市歯科口腔保健推進条例などに関する啓発を行いました。

◆「神戸市成人お祝いの会」での啓発

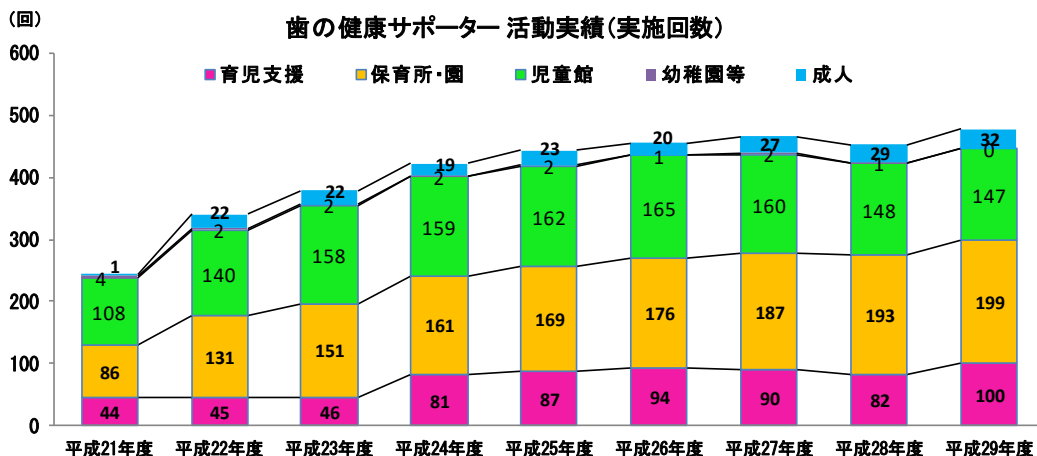
成人お祝いの会（1月9日）会場のオーロラビジョンにおいて、「かかりつけ歯科医を持とう」動画を放映しました。



中央図書館での展示

⑤ 人材育成

在野の歯科衛生士を育成し、歯の健康サポーターとして、地域の施設・団体に派遣を行い、ライフステージに応じた歯科健康教育を実施しています。市民が、むし歯や歯周病などの歯科疾患の予防に取り組むことを支援し、市民の歯科保健意識の向上に努めました（歯の健康サポーター登録者数 39 人）。



⑥ 出前トークなどでの健康教育

「こうべ歯と口の健康づくりプランの推進」をテーマに、地域からの依頼に応じて、ライフステージに応じた取り組みについて啓発を行いました。（20回、655人）

◆中央図書館での展示（6月8日～26日）

「大切な歯のために～歯から健康」展を開催し、関連図書の展示や、ポスターの掲示により、歯科口腔保健の啓発を行いました。6月16日には、兵庫県歯科衛生士会作成の紙芝居を使って「カミング30」の啓発を行いました。

◆さんちか花時計ギャラリーでの展示

よい歯の日（4月18日）、歯と口の健康週間（6月4日～10日）に啓発を行いました。

③人材育成

在野の歯科衛生士を育成した「歯の健康サポーター」が地域の施設・団体に出向いて、ライフステージに応じた歯科健康教育を実施しています。市民がむし歯や歯周病などの歯科疾患の予防に取り組むことを支援し、市民の歯科保健意識の向上に努めています。

④出前トークでの健康教育

「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）の推進」として、地域からの依頼に応じて、歯科口腔保健について啓発を行います。

2. 妊娠期

目標：生まれてくる赤ちゃんのため、両親が自分の歯と口の健康を守る

(1) 推進方策・事業展開

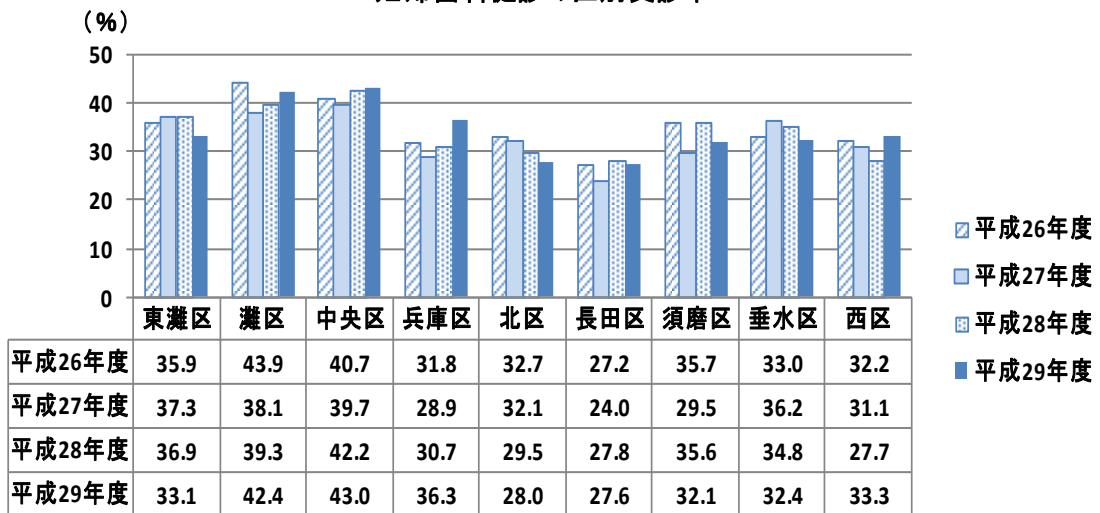
妊娠中は、つわりなどで、むし歯や妊娠性歯肉炎になりやすく、重度の歯周病は早産につながる可能性があるため、妊婦歯科健康診査の受診勧奨について強化します。出産後のむし歯菌の母子感染予防についても啓発していきます。

(2) 平成 29 年度の実績

①妊婦歯科健康診査

平成 29 年度の妊婦歯科健康診査受診者は、4,119 人／12,022 人（受診率 34.3%）でした。前年度より 0.2 ポイント増加しました。

妊婦歯科健康診査の別受診率



別受診率：歯科医療機関の所在区別の受診者数/居住区別の発送数

神戸市保健事業概要

②こうべ子育て応援メールの配信

妊婦や子育て世代を対象に、妊娠中の健康管理やこどもの成長過程、定期健診情報、妊娠・子育て生活のアドバイス等の情報をタイムリーに配信する「こうべ子育て応援メール」の中で、妊婦歯科健康診査の啓発を行っています。

(3) 平成 30 年度の取り組み

- ◆妊娠期からの歯と口の健康づくりに関する情報提供を行います。
- ◆母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査の受診勧奨を引き続き実施します。
- ◆妊婦や子育て世代を対象に、引き続き「こうべ子育て応援メール」などによる情報提供を行います。

3. 乳幼児期（0～5歳）

目標：こどもの歯を守り、かむ・話すなど口の機能を育てる

1) 家庭、地域における取り組み

(1) 推進方策・事業展開

食べる機能を獲得し、味覚を形成する重要な時期です。

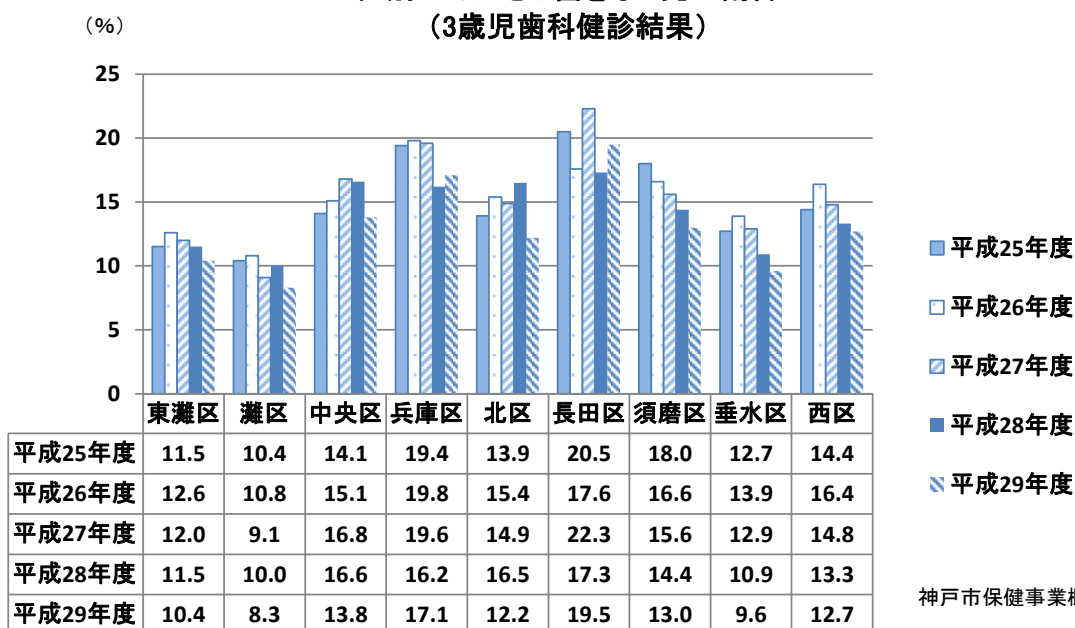
むし歯を持つ児の割合は減少傾向ですが、地域差・個人差があるため、歯科健康診査、健康教育などを通して、保護者へむし歯予防の啓発を行い、健全な口腔機能の保持増進に努めます。

(2) 平成29年度の実績

①平成29年度3歳児健診の結果

- ◆むし歯有病者率：12.1%（平成28年度から1.4ポイント減少）
- ◆一人平均むし歯数：0.4本（平成28年度から0.05本減少）
- ◆むし歯をもつ児における一人平均むし歯数：3.28本（平成28年度から0.06本減少）
- ◆咬みあわせの異常の割合：22.4%（平成28年度から1.2ポイント減少）

区別にみたむし歯をもつ児の割合
(3歳児歯科健診結果)



神戸市保健事業概要

②フッ化物塗布（1歳6か月児および3歳児歯科健診にて）

むし歯を予防するには、フッ化物を利用して歯質を強化することが効果的であるため、1歳6か月児・3歳児健康診査時に、希望者には有料でフッ化物塗布を実施しています。

1歳6か月児：9,366人／11,822人（79.2%）：（平成28年度より1ポイント減少）

3歳児：7,319人／11,846人（61.8%）：（平成28年度より0.5ポイント減少）

③地域における歯科健康教育

児童館や子育て支援サークルの参加者などを対象に、歯の健康サポーター（歯科衛生士）による健康教育を実施しています。むし歯予防のため、保護者に対して、仕上げみがき、食生活指導、フッ化物の応用などについて広く啓発しました。

児童館すこやかクラブ：147 か所 3,953 人、子育て支援サークル：100 か所 2,600 人

（3）平成 30 年度の取り組み

①2 歳児むし歯予防教室

個別指導で保護者の要望にきめ細かく対応し、幼児期のむし歯予防につなげています。平成 30 年度においても引き続き参加者に満足してもらえるよう努めるとともに、3 歳児健診のむし歯有病者率の低下をめざします。

2）保育所（園）、幼稚園における取り組み

（1）推進方策・事業展開

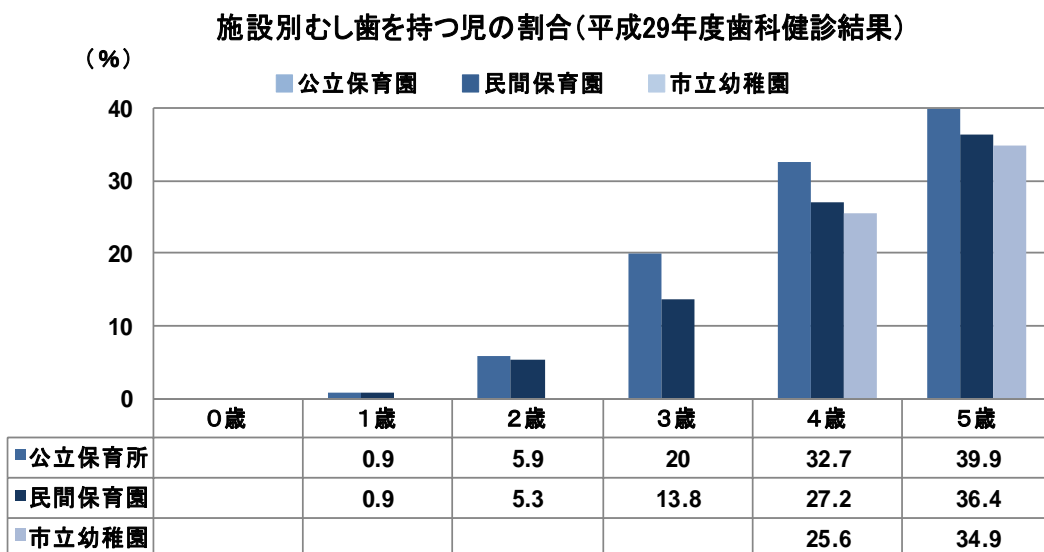
保育所（園）、幼稚園では、歯科健康診査、健康教育およびフッ化物洗口などを通して、歯や口の健康づくりを推進しています。

（2）平成 29 年度の実績

①歯科健康診査

保育所（園）、幼稚園では、歯科健康診査を実施するとともに、必要な場合は、受診勧奨を行っています。

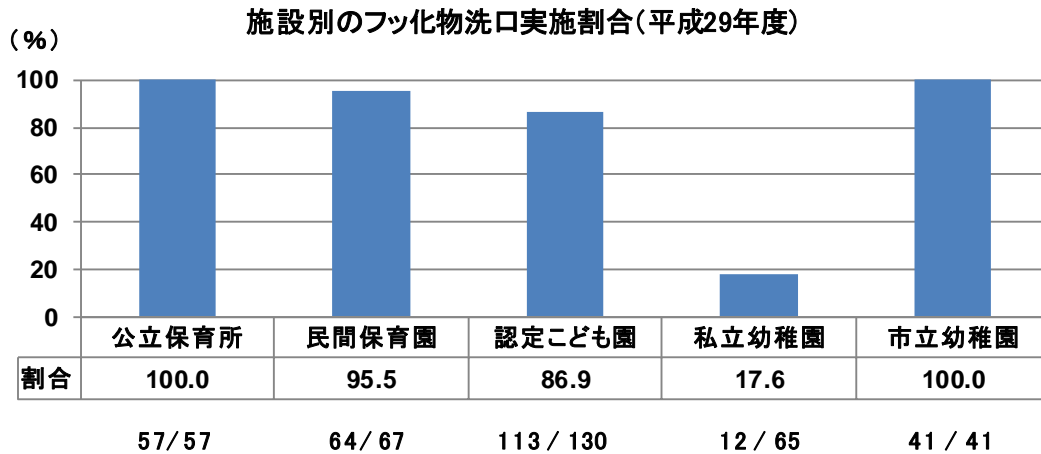
受診者数：公立保育所 5,286 人、民間保育園・幼保連携型認定こども園 18,812 人、市立幼稚園 1,910 人



神戸市こども家庭局、神戸市教育委員会 調査

② フッ化物洗口の実施

むし歯予防を目的として、保育所（園）、幼稚園に通う4歳、5歳児クラスの希望者を対象に、フッ化物洗口を実施しています。



神戸市こども家庭局、神戸市教育委員会 調査

(3) 平成30年度の取り組み

フッ化物洗口について、正しく理解を深めて、安全に実施するために、園長や職員などを対象として、研修会を実施しました。今後も、保護者などを対象に、歯科口腔保健に関する啓発を行っていきます。

4. 学齡期（6～17歳）

目標：むし歯を予防し、歯と口の健康づくりの基礎をつくる

（1）推進方策・事業展開

生涯を通じた歯と口の健康づくりの基盤を形成するために、大変重要な時期です。顎の成長が著しく、14歳頃に永久歯の歯並びが完成していきます。

むし歯を持つ児童生徒の割合は減少しましたが、中学生・高校生では、歯肉の異常の割合が増加しています。学校歯科保健教育の充実を図り、学校保健委員会*などを活用して、健康な児童生徒を育成していきます。

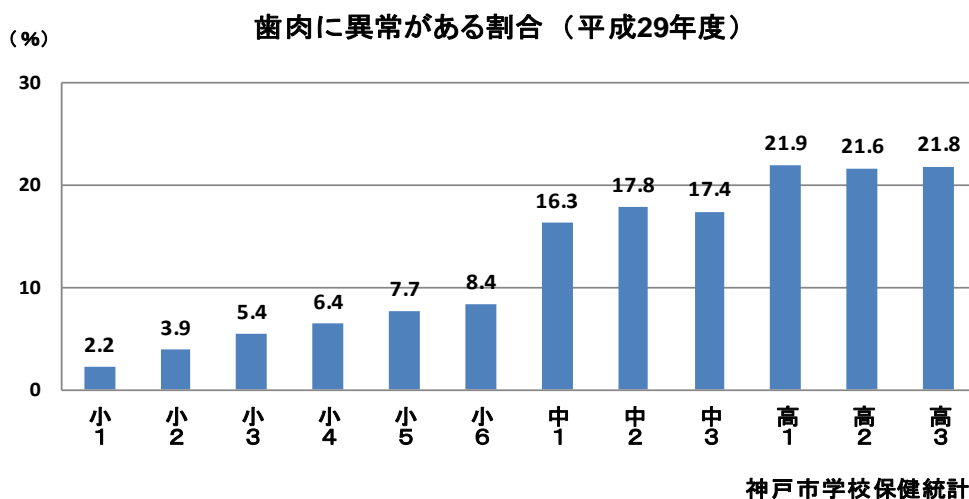
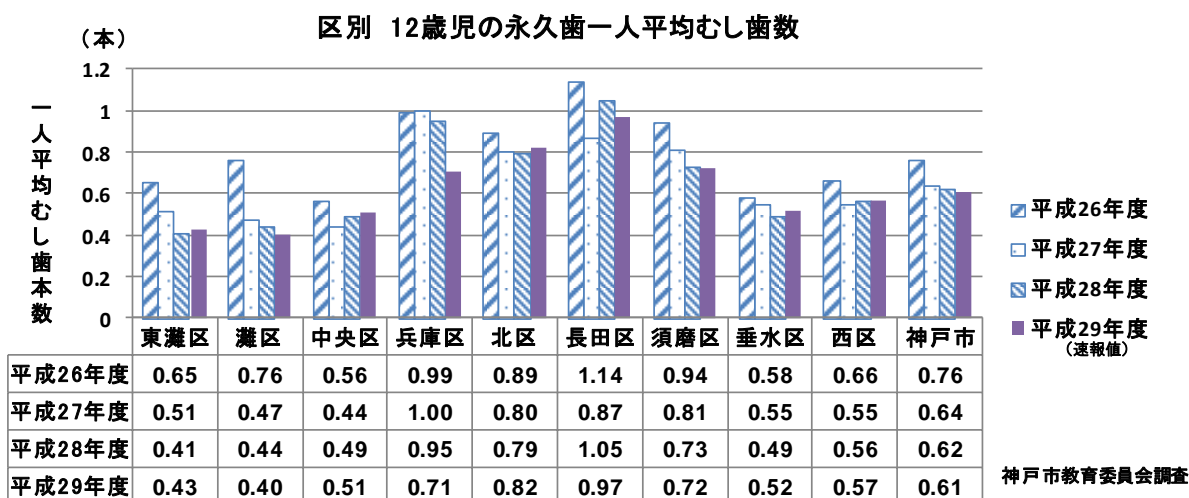
（2）平成29年度の実績

①定期健康診断における歯科健診の実施

健診結果にもとづき、適切な予防処置、治療勧告や個別指導などの事後措置を行い、児童・生徒の健康の保持増進を図っています。

受診者数：小学校 74,986人、中学校 33,831人、高等学校 7,179人、特別支援学校 937人

12歳児一人平均むし歯数：0.61本



②学校保健委員会の中で学校歯科保健をテーマに実施

学校保健委員会において歯と口の健康づくりをテーマにするなど、学校・家庭・地域が連携して学校歯科保健に取り組むように働きかけています。

実施数：小学校 18 校（164 校中）、中学校 2 校（84 校中）

③学校歯科保健研修会の開催（平成 29 年 10 月 12 日）

学校における歯・口の保健指導を通じて、児童が歯と口の健康づくりを実践できるようになるための具体的な指導方法について、教職員が研究を行っています。

「学校歯科保健の現状と課題」をテーマに開催。63 人参加。

④よい歯の表彰式の開催（平成 30 年 1 月 18 日）

歯科口腔保健の取り組みについて優良な学校および児童を表彰することにより、児童・生徒の歯科口腔保健意識の向上を図っています。

優秀校園表彰 88 校園、個人表彰（小学 6 年生） 166 人

⑤歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールの開催、学校給食だよりでの啓発

- ・ 図画・ポスターコンクール実施、入選者 49 人
- ・ 学校給食だよりの 6 月・11 月号に、歯と口の健康づくりに関する啓発記事を掲載

（3）平成 30 年度の取り組み

上記の取り組みを引き続き実施していくことにより、むし歯や歯周病の予防や食育の視点も踏まえた啓発などを行い、生涯における歯と口の健康づくりを推進していきます。

- ・ 学校歯科保健研修会の開催（平成 30 年 10 月 11 日）
- ・ 学校給食だよりの 6 月・11 月号に、歯と口の健康づくりに関する啓発記事を掲載
 - 6 月 歯と口の健康週間（6/4～6/10）の周知
 - 11 月 いい歯の日（11/8）の啓発

*学校保健委員会は、学校における健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進するための組織。校長、養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員などの教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者代表、児童生徒、地域の保健関係機関の代表などを主な委員とし、保健主事が中心となって、運営することとされている。

5. 若年期（18～39 歳）

目標：歯と口の健康づくり習慣を確立し、歯周病を予防する

（1）推進方策・事業展開

学校保健以降 40 歳までは、歯科口腔保健の制度が空白のため、定期的な歯科健診を受ける機会がなくなり、歯と口の健康づくりが不十分になりやすい時期です。むし歯や歯周病は、歯を失うだけでなく、全身の健康にも影響することから、予防や早期発見には、定期的な管理が必要です。

大学や職域保健と連携し、正しい情報提供を行うとともに、自分の歯の健康は自分で守るという意識を持たせることが重要です。

（2）平成 29 年度の実績

①歯周病検診の実績

平成 29 年度歯周病検診の 35 歳の受診者数：190 人（平成 28 年度 198 人）

②歯周病検診の受診勧奨

35 歳の方を対象に、個別通知を送付して受診勧奨をしました。

（3）平成 30 年度の取り組み

①歯周病検診の実施

各区役所等での歯周病検診を 6 月と 11 月に開催します。

②広報啓発

広報紙 K O B E にて歯周病検診の受診勧奨を行います。

また、かかりつけ歯科医での定期的な歯科健診受診の大切さを啓発していきます。

6. 壮年期 (40~64歳)

目標：歯の喪失を防止するため、歯周病を予防し、よくかんで健康増進

(1) 推進方策・事業展開

仕事で多忙であるという理由から、生活習慣の乱れが生じ、歯と口の健康づくりが不十分になりやすい時期です。

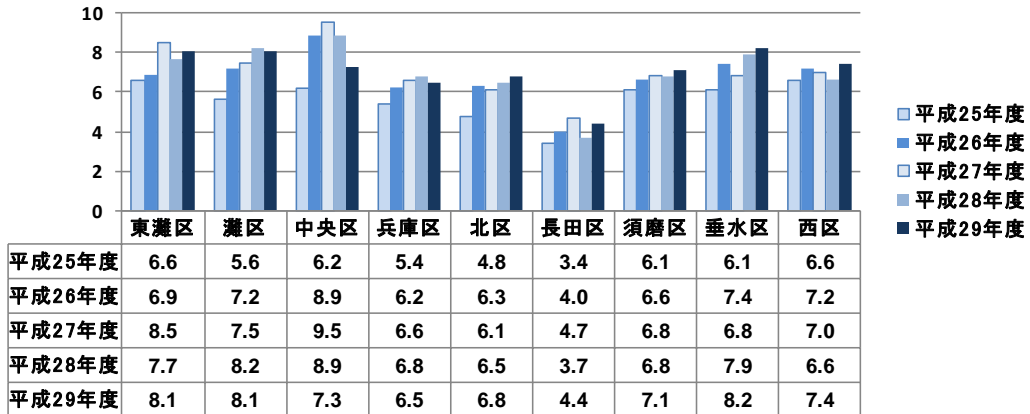
歯周病は、歯を失うだけでなく全身の健康にも影響することから、早期発見および定期的な管理が重要です。歯周病検診の受診率向上に努めるとともに、職域保健と連携し、歯周病に関する正しい情報提供を行います。

(2) 平成29年度の実績

①歯周病検診の実績

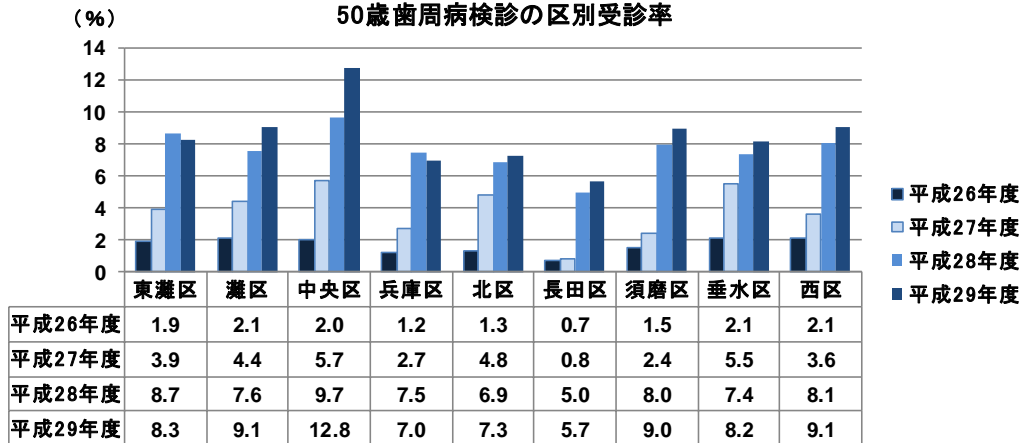
- ・平成29年度 40歳歯周病検診の受診者数
1,542人/21,000人(受診率：7.3%)：平成28年度より0.1ポイント増加
- ・平成29年度 50歳歯周病検診の受診者数
1,607人/18,741人(受診率：8.6%)：平成28年度より0.8ポイント増加
- ・平成29年度 直営歯周病検診の受診者数：480人(35歳と41歳以上の市民対象)

40歳歯周病検診の区別受診率



区別受診率：歯科医療機関の所在区別の受診者数/居住区別の発送数 神戸市保健事業概要

50歳歯周病検診の区別受診率



区別受診率：歯科医療機関の所在区別の受診者数/居住区別の発送数 神戸市保健事業概要

② 歯周病検診の受診勧奨

◆「神戸けんしんガイド」での啓発

親しみやすいイラストを用いて検診制度を紹介する「神戸けんしんガイド」を作成して、歯周病検診についても掲載しました（広報紙KOB E 4月号）。

歯周病検診	35歳	満41歳以上	問診、歯の状況、歯周ポケットの測定、歯科保健指導
神戸市歯科健康診査	妊婦 満40歳 51歳		
後期高齢者(75歳)歯科健康診査	★前年度75歳を迎え、後期高齢者医療制度加入者 76歳(昭和18年4月1日～昭和17年3月31日生まれ)		

「神戸けんしんガイド」より抜粋

③ 広報啓発

市政広報ポスターを作成し、自治会・婦人会に配布しました。（地域の掲示板にも掲示）地域の歯科医院にも掲示をお願いしました。



市政広報ポスター

(3) 平成30年度の取り組み

① 歯周病検診

直営および委託での歯周病検診の受診率向上に取り組めます。

② 特定健診

新規

30年度から国の第3期特定健康診査等実施計画機関における特定健診・特定保健指導の運用の見直しをうけて、質問項目に「食事をかんで食べる時の状態」に関する質問を追加しました。

7. 高齢期（65歳以上）

目標：歯の喪失を防止し、口の中を清潔にして、口から食べて活力維持

（1）推進方策・事業展開

だ液の減少、歯の喪失などにより、誤嚥・窒息を起こしやすくなる時期。高齢者は、加齢および服用している薬の副作用にて、だ液が減少するなどの影響により、むし歯や歯周病が進行しやすくなるとともに、歯の喪失などにより口腔機能が低下して、誤嚥・窒息を起こしやすくなります。オーラルフレイルを早期発見し、フレイル予防につなげることが重要です。

口腔機能を維持・向上し、いつまでも口から食べて活力ある生活を送ることができるよう介護予防の「口腔機能の向上」プログラムの普及や、誤嚥性肺炎の予防の啓発に取り組みます。65歳以上の高齢者を対象とする地域拠点型一般介護予防事業では、歯科衛生士による介護予防講座を行い、口腔ケアの知識向上を図ります。

（2）平成29年度の実績

①口腔機能の向上プログラムなど

平成29年度より、地域拠点型一般介護予防事業に歯科衛生士を派遣し、口腔の健康を保つための講座や体操など延べ185回実施しました。**新規**

また、事業対象者および要支援1・2を対象とした「短期集中通所サービス（集団型・個別型）」では、教室に直接歯科衛生士が出向き、定期的に口腔機能向上の講話を実施しました。全12回のうち、集団型では2回の講話を、個別型では個人の状態に応じた適切なアドバイスやプログラムを3回提供しており、参加者からは、口腔ケアを意識するようになり、改善したとの声を聞いています。

②後期高齢者（75歳）歯科健康診査の実施

歯や歯肉の状態や口腔清掃状態等をチェックし、歯と口の健康を保つことにより全身の健康づくりをめざして、後期高齢者医療制度被保険者の内、75歳の方を対象に口腔機能低下の予防と肺炎等の疾病予防を目的とした健診を実施しました。

平成29年度の受診者数 1,270人／18,405人（6.9%）

③フレイルチェックの実施

加齢による心身の活力の低下で介護に移行しやすい状態を早期に発見し、生活習慣を見直す機会を提供するフレイルチェックでは、心身の機能低下だけでなく、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。」などの質問や咀嚼、嚥下などの口腔機能も確認できる内容としています。平成29年度は、65歳の市民を対象に、特定健診集団健診会場と薬局（平成30年3月末）（市内381か所）、イベント等において実施し、合計3,083人（65歳1,849人、65歳以外1,234人）に実施しました。

④広報啓発

◆しあわせの村だより4月5月号

後期高齢者歯科健康診査（75歳）の案内記事を掲載しました。

◆歯科健診受診勧奨広告（広報紙 KOBE 2月号広告欄）

歯周病検診の受診勧奨について掲載しました。

広報紙 KOBE 2月号

◆ハッピーパックニュース 11月号に掲載

「楽しくおいしく食べるために健口体操を行いましょう」をテーマに啓発しました。

ハッピーパックニュース

しあわせの村だより

3)平成 30 年度の取り組み

①総合事業への取り組み

地域拠点型一般介護予防事業では、専門職による介護予防講座において、歯科衛生士を派遣し、口腔機能向上の重要性に関する啓発を行います。また、短期集中通所サービス（集団型・個別型）では、口腔体操や口腔機能の向上のプログラムや講話を実施して、口腔機能の向上を図ります。

高齢化がいつそうすすむなか、高齢者の方々が元気な生活を長く送っていただくためにも、口腔機能の向上をきっかけに日常生活の活動を高め、社会参加をしていただくことで、高齢者一人ひとりが、生きがいや役割をもって生活していけるような場や機会を提供していきます。

②後期高齢者（75歳）歯科健康診査の実施

後期高齢者(75歳)歯科健康診査の受診率向上に取り組みます。

③フレイルチェックの実施

平成 30 年度は、神戸市国保加入の 65 歳および前年度にフレイルチェックを受けた 66 歳を対象に変更し、継続受診・経年分析を行います。

④オーラルフレイル対策 **新規**

滑舌の悪さ、食べこぼし、わずかなむせ、噛めない食品が増えるなど、口まわりのささいな衰えに早期に気づき、改善することで、フレイル予防、健康長寿につなげることを目的に「オーラルフレイル対策」に取り組みます。

分野別にみた施策の展開

1. 障害者への歯科保健医療対策

(1) 推進方策・事業展開

障害の種類や程度によっては、自分で口腔ケアを行うことが困難な場合や、口の機能に支障がある場合があり、障害者の特性を理解した歯科専門職が対応する必要があります。

「神戸市立こうべ市歯科センター」では、地域の歯科診療所での治療が困難な人を対象に、日帰り全身麻酔や静脈内鎮静法などの専門的な医療に対応しています。

(2) 平成 29 年度の実績

障害者、高齢者など一般歯科診療所において、診療が困難な人への歯科治療などを行うため、地域の歯科診療所や神戸市立医療センター西市民病院と連携し、安心・安全に配慮しながら、「市立こうべ市歯科センター」を運営するとともに、障害者施設への訪問歯科保健指導や訪問歯科健康診査、障害者歯科に関する歯科医療研修会を開催しました。

平成 29 年度 こうべ市歯科センター受診者数

	心身障害者	有病者※	非協力小児	歯科診療恐怖症	重度嘔吐反射	その他	合計
受診者(人)	4,549	327	197	72	175	164	5,484
構成比(%)	82.9	6.0	3.6	1.3	3.2	3.0	100

* 歯科以外の他科の疾患を併せ持つ人 こうべ市歯科センター調べ

- ・ 障害者施設への訪問歯科保健指導の実績 3施設 11回 96人参加
- ・ 障害者施設への訪問歯科健康診査の実績 5施設 7回 202人参加
- ・ 障害者歯科医療研修会の実績（年1回実施） 134人参加

(3) 平成 30 年度の取り組み

引き続き、「市立こうべ市歯科センター」を運営するとともに、障害者施設への歯科保健指導や歯科健康診査および障害者歯科に関する歯科医療研修会を開催するなど、今後も継続して、障害者の歯科保健医療対策を充実させていきます。

各手帳の所持者数



2. 地域包括ケアに向けた取り組み

(1) 推進方策・事業展開

地域包括ケアシステムのなかで、住み慣れた地域で、口の機能を維持し続けられるよう、切れ目のない歯科医療・口腔ケアの支援体制の構築に取り組んでいきます。

地域包括ケアシステムの構築をすすめるにあたって、歯科医療機関の果たす役割や機能を示し、地域住民に対する地域保健活動や、入院患者および居宅等で療養を行う患者に対する医科歯科連携をすすめる必要があります。地域包括支援センターが行う地域ケア会議や、医療機関や介護保険施設が行うカンファレンス等において、歯科医療機関とその他の関係機関との調整を行う人材の養成が必要です。歯科衛生士、歯科技工士との連携も重要であり、人材確保が不可欠です。

(2) 平成 29 年度の実績

①口腔ケア研修会の開催支援

医療・保健・介護関係団体で組織される神戸市介護サービス協会が実施する介護関係者を対象とした口腔ケアに関する研修会の開催を支援しました。

②地域ケア会議および神戸市介護保険専門分科会による相互連携体制の構築

あんしんすこやかセンターを主体として実施する地域ケア会議を開催(平成 29 年度:241 回、うち歯科医師会参加:78 回)し、区を主体として実施する地域ケア会議を開催し(平成 29 年度:9 区。9 区ともに歯科医師会参加)、地域において歯科医師を含めた多職種のネットワークを構築しました。また、医療・介護関係者や行政で構成する「神戸市介護保険専門分科会」を開催しました(平成 29 年度:1 回)。

③在宅・施設での口腔ケアに関する介護保険利用実績(平成 29 年度平均)

介護保険制度を利用して、在宅・施設において歯科医師や歯科衛生士による口腔ケア(居宅療養管理指導)を受けている要介護認定者は2,578人(要介護認定者51,884人(平成29年9月末現在)の4.9%)です。また、市内の歯科診療所で介護保険による訪問歯科診療を実施しているのは15.5%(148/952(平成30年3月末現在))です。

④高齢者施設での口腔機能管理の取り組みに関する介護保険利用実績(平成 29 年度平均)

歯科医師または歯科衛生士が介護職員に対して、口腔ケアにかかる技術的助言・指導を月1回以上行っている高齢者施設は、178か所のうち70.8%(126か所)。また、歯科医師等による個別の口腔機能維持管理指導を受けている人は6.2%(612人/9,889人)です。

⑤地域包括ケア推進部会の各区での多職種連携の推進 **新規**

歯科医師も含めた医療・介護関係者で構成する「地域包括ケア推進部会」を開催し、医療介護連携の推進等について協議しました(平成 29 年度:2 回)。また、4つの専門部会を設置し、専門的かつ集中的な検討が必要な課題について、各部会で議論を行いました。

また平成 28 年度・29 年度で市内全区に医療介護サポートセンターを開設し、歯科医師を含めた多職種連携会議や事例検討会を開催しました。

⑥訪問歯科診療・訪問口腔ケア事業

歯科医師が訪問して診療を行う「訪問歯科診療事業」に加え、訪問口腔ケア事業を行い、神戸市歯科医師会運営の「歯科保健推進室」を窓口、兵庫県歯科衛生士会と連携して、

食支援を含めた口腔機能管理を実施していました。

平成 29 年 8 月には、co-op こうべと連携して、給食サービスの際に、訪問歯科診療・訪問口腔ケアのチラシを配布して啓発しました。

訪問診療区別受付状況(人)

東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	合計
11	9	7	17	10	14	40	6	18	132

訪問口腔ケア事業区別実施状況(延べ回数)

東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	合計
131	25	9	0	0	15	0	2	2	184

(3) 平成 30 年度の取り組み

①口腔ケア研修会の開催支援

医療・保健・介護関係団体で組織される神戸市介護サービス協会が実施する介護関係者を対象とした口腔ケアに関する研修会の開催を支援します。

②地域ケア会議による相互連携体制の構築

あんしんすこやかセンターを主体として実施する地域ケア会議を開催することにより、歯科医師を含めた多職種のネットワークを構築していきます。

③歯科診療・口腔ケアの広報啓発

市民、事業者等に対し、歯科診療・口腔ケアの重要性を広報啓発していきます。

④地域包括ケア推進部会の開催および各区での多職種連携の推進

歯科医師も含めた医療・介護関係者で構成する「地域包括ケア推進部会」を開催し、医療介護連携を推進するとともに、4つの専門部会において、専門的かつ集中的な検討が必要な課題について、引き続き議論していきます。

また全区に設置した医療介護サポートセンターにおいて、歯科医師を含めた多職種連携会議や事例検討会を開催します。在宅歯科診療や口腔ケアに関する相談については、引き続き市区歯科医師会と連携して対応を行っていきます。

⑤訪問歯科診療・訪問口腔ケア事業

訪問歯科診療および口腔ケア事業を周知していきます。

3. 救急医療対策（歯科）

（1）推進方策・事業展開

救急医療対策の一環として、神戸市歯科医師会附属歯科診療所において、休日の歯科救急医療を実施しています。

（2）平成 29 年度の実績

日曜日や祝日に歯や歯ぐきが痛んだり、外傷を受けて歯が折れたり抜けたりした時に、かかりつけの先生に受診できない人への応急処置を行う神戸市歯科医師会附属歯科診療所の運営支援を行いました。

所在地：中央区三宮町 2-11-1 センタープラザ西館 5 階（平成 26 年 7 月から）

設置運営：公益社団法人 神戸市歯科医師会

診療時間：休日（日曜、祝日、振替休日、年末年始[12/29～1/3]）の 10 時～15 時

受診者数：1,132 人（一日平均 15.7 人）

平成29年度 休日歯科診療所実績 症状別（複数該当あり）

症状	かむと痛い	はれた	むし歯	詰め物・冠はずれた、入れ歯壊れた	歯周病	外傷	歯がしみる、ずきずき痛い	その他	合計
人数（人）	318	270	320	192	161	130	87	57	1,535
構成比（%）	20.7%	17.6%	20.8%	12.5%	10.5%	8.5%	5.7%	3.7%	100%

神戸市歯科医師会調べ

（3）平成 30 年度の取り組み

今後も、歯科医師会や歯科衛生士会などの医療関係者、行政が協力して、休日歯科診療所の運営を維持していきます。（5 月末現在、受診者数 227 人）。

4. がん対策（口腔がん）

(1) 推進方策・事業展開

口腔がんとは、顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の総称で、舌がんが約 6 割を占めます。人口の高齢化に伴い、わが国における口腔がんの罹患数は、30 年前の約 3 倍（1975 年 2,100 人→2005 年 6,900 人）となり、全癌の約 1%、全頭頸部癌の約 40%を占めます。

口腔は喫煙や飲酒、またむし歯や不適な義歯などによる刺激など、発がんの危険因子が複数存在することが特徴です。口腔がんが進行すれば、食べる・飲み込む・話すなどの口の機能に影響をおよぼすとともに、手術による顔の変形などを伴うこともあるため、口腔がんの早期発見・早期治療は重要です。

(2) 平成 29 年度の実績

①口腔がん検診の実施

新規

平成 29 年 12 月より、神戸市歯科医師会が附属歯科診療所（中央区センタープラザ西館 5 階）において、神戸市立医療センター中央市民病院に所属する日本口腔外科学会専門医による口腔がん検診を開始しました。

口腔がん検診の受診者数（人）

実施回数	受診者数	検診結果		異常なしの内、要歯科受診	※紹介状
		異常なし	要精検（異常あり）		
12	165	154	11	29	5

※紹介状：要精検および要歯科受診が対象

②広報啓発

神戸市歯科医師会において、ポスター・チラシなどを作成し、医師会・薬剤師会などの関係機関へ配布して事業の周知を図っています。

また、広報紙 KOBE に検診日程および申し込み方法を掲載して、市民へ周知しています。広報紙 KOBE 2 月号では、口腔がん検診の啓発を行いました。

(3) 平成 30 年度の取り組み

①口腔がん検診の実施

引き続き、口腔がん検診の充実を図っています。

②広報啓発

新規

平成 30 年 5 月 19 日、中央市民病院がん市民フォーラムにおいて「口腔がん」をテーマに市民へ口腔がんの啓発を行いました。

今後、ポスター等による周知を図るとともに、広報紙 KOBE に検診日程を記載し、受診者を募集します。

広報紙 KOBE 平成 30 年 2 月号

がん市民フォーラム

5. 周術期（手術前後）などの取り組み

（1）推進方策・事業展開

がんなどに係る全身麻酔による手術などを受ける患者に、医科からの依頼に基づいて、歯科医師が歯科衛生士とともに口腔機能を管理する取り組みです。歯科医療および専門的口腔ケアを実施することにより、術後性肺炎などの合併症を予防することが可能です。また、糖尿病患者における医科歯科連携、脳卒中連携パスの歯科のかかわりなど、医科と歯科が必要な情報を共有するよう推進していきます。

（2）平成 29 年度の実績

①医科歯科連携の推進

中央市民病院では、外科、呼吸器外科の周術期口腔機能管理を神戸市歯科医師会 9 区全域の登録歯科医院に直接当該科から紹介するシステムを立ち上げました。**新規**

西神戸医療センターでは、西区、垂水区、須磨区歯科医師会と定期的な連携会議を開催し、周術期口腔機能管理研修を行うなど地域との連携に向けて取り組みました。また、周術期口腔機能管理に関する講演会・症例検討会も開催しました。

歯科医師会では「協力歯科医院リスト」の更新を行い、随時、中央市民病院に提供しています。また、中央区歯科医師会では、歯科のない病院への働きかけを行っています。

◆市内のがん拠点病院（国指定）での周術期口腔機能管理の実績

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
神戸大学付属病院	845 件、延べ 2,354 件	1,118 件、延べ 2,925 件	2,461 件、延べ 4,174 件
中央市民病院	706 件、延べ 1,872 件	754 件、延べ 2,107 件	557 件、延べ 1,598 件
西神戸医療センター	230 件、延べ 401 件	254 件、延べ 528 件	219 件、延べ 527 件

②広報啓発

「神戸市がん対策推進条例（平成 26 年 4 月）」に基づき設置している「神戸市がん対策推進懇話会」において周術期口腔機能管理の重要性について関係者への周知を図りました。

歯科医師会では周術期口腔機能管理の重要性について、ポスターを作成しており、神戸市医師会、神戸市薬剤師会へ依頼し、市内の診療所・薬局での掲示を行うことで、市民への啓発を図りました。

（3）平成 30 年度の取り組み

①医科歯科連携の推進

「神戸市がん対策推進条例」に基づき設置した「神戸市がん対策推進懇話会」において、周術期の口腔機能管理と医療連携について関係者との共通認識を図っています。

中央市民病院では昨年立ち上げた外科、呼吸器外科からの紹介システムに、新たに保険収載された脳卒中、人工関節置換術等の周術期口腔機能管理を加えています。**新規**

西神戸医療センターでは、地域の 3 区歯科医師会と定期的に連携会議を行い、引き続き周術期口腔機能管理の推進について情報交換を行います。平成 28 年 10 月より、医科から

地域の歯科医療機関へ直接口腔機能管理を依頼できるように、専用の診療情報提供書様式を採用しており、今年度も医科歯科連携の充実を図っていきます。また、周術期口腔機能管理に関する講演会・症例検討会も引き続き行います。

神戸市歯科医師会では、全市の歯科のない病院のスタッフを対象に周術期口腔機能管理の重要性について、啓発・周知を行っています。

②広報啓発

平成 30 年 5 月 19 日、中央市民病院主催のがん市民フォーラムにおいて、歯科衛生士が周術期口腔機能管理をテーマに、市民への啓発を行いました。

周術期口腔機能管理の重要性について、出前トークなどを通じて市民へ啓発します。

6. 災害時における歯科保健医療対策

(1) 推進方策・事業展開

誤嚥性肺炎による震災関連死を防ぐため、平常時より口腔ケアに関する啓発などを行い、関係者との顔の見える関係づくりに努めます。また、災害時においては、神戸市歯科医師会との協定などに基づいて、被災者の健康維持のため、関係機関とともに応急歯科医療および口腔ケアを行います。

(2) 平成 29 年度の実績

① 広報啓発

◆ 危機管理センターでの啓発（常時展示）

神戸市危機管理センター 1 階市民防災展示室において、災害時の口腔ケアの必要性について啓発しました。

◆ さんちか花時計ギャラリー

定期的に歯ブラシなどの口腔ケア用品の備蓄の必要性について啓発しました。

◆ 広報紙 K O B E（平成 30 年 2 月号）

災害時の口腔ケアの必要性について啓発しました。

くらしのセント

いつもどおしのそなえ
もしものあんしん

いつもできる災害対策

いつもどおしのそなえ
災害時、水が不足したり、避難所での生活が異なったりして、口の健康を害さないことが重要です。口を清潔に保てないと、誤嚥性肺炎にかかることも、阪神・淡路大震災の際には、肺炎で200人以上が亡くなっています。水が不足するときでも、口を清潔に保つための準備をしておきましょう。

【準備 神棚はし袋に入れておくもの】・歯ブラシ・デンタルリンス

1. デンタルリンス 10ml (4cc) 半分程度を口に含む
2. 20秒間歯をブラッシングし、口の中に泡を溜らせる
3. 歯ブラシを使って歯を磨く
4. 顔を洗っておく

歯磨き時等に寄る菌が鼻や喉、入耳鼻にも入ります。きれいにしましょう

一緒に備えよう！

117 KOBE ぼうさい委員会
神戸市と神戸新聞社が協賛で立ち上げられ、市内の大学生が中心となって災害への備えの大切さを訴えていくプロジェクトです。専攻科、大学17校約90人の学生が参加中。

災害への備えは **定食系** 準備
【南】危機管理課（☎322-5457、F 322-5031）

広報紙 K O B E（平成 30 年 2 月号）

(3) 平成 30 年度の取り組み

① 広報啓発

危機管理センター、さんちか花時計ギャラリーなどにおいて、引き続き広報啓発などに取り組みます。

災害時に、いのちを守る口腔ケア。

ご存知ですか？ 阪神・淡路大震災の後、多くの方が、口の中の細菌が原因で肺炎になり命を落としたことを。

平成7年の阪神・淡路大震災では、震災後2か月以内に死亡した「震災関連死」921人の中で、最大の死因は、肺炎による死亡者が223人と28%を占めました。この原因の多くは口の中の細菌が原因で発生する誤嚥性肺炎と考えられ、大規模の震災、水不足による口を清潔に保てない、避難所での生活環境などにより、口内が清潔に保たれなかったことが大きな要因です。

誤嚥性肺炎は、口の中の細菌が食物や唾液とともに咽下して肺に入ってしまったために起こる肺炎です。高齢者の肺炎の約8割が誤嚥性肺炎とされています。口腔ケアにより口の中の細菌を減らす結果、肺炎の予防、肺炎および死亡リスクの軽減が期待される効果が見られます。口腔ケアを実施して肺炎を予防することにより、高齢者や要介護者の命を救えることが期待されます。

災害時、お口の中を衛生的に保つことは、あなたの命をつなぐこと。ふだんから非常持ち出し袋に歯ブラシなどの口腔ケアグッズを備えておきましょう。

神戸市 × 神戸危機管理センター × 神戸市立中央図書館 × 神戸市立中央図書館 × 神戸市立中央図書館 × 神戸市立中央図書館

災害時口腔ケア啓発ポスター

計画の指標

神戸市の現状および国の目標値について

すべてのライフステージにおける指標			神戸市		神戸市		国
			策定時	データソース	現状値	データソース	H34 目標値
進行した歯周炎を有する人の割合を減らす	40歳	36.9%	H24 40歳総合健診 歯周疾患検診	48.6%	H29 40歳歯周病 検診	25.0%	
	妊婦	38.1%	H24 妊婦歯科 健康診査	50.1%	H29 妊婦歯科 健康診査	—	
毎年定期的に歯科健診を受ける人の割合	40歳代	36.9%	H23 市民の健康 アンケート	34.8%	H29 40歳歯周病 検診	65% (20歳以上)	
	50歳代	37.2%	H23 市民の健康 アンケート	34.8%	H29 歯周病検診		
フッ化物洗口を実施する施設数		247施設 13,016人	H24 こども家庭局 教育委員会 調査	287施設 14,830人	H29 こども家庭局 教育委員会 調査	—	
咀嚼良好者（一口30回以上よくかむ）	18歳以上	22.0%	H23 市民の健康 アンケート	25.9%	H26 食育に関するア ンケート	—	
たばこと歯周病の関係について知っている人の割合		28.9%	H23 市民の健康 アンケート	46.8%	H28 県健康づくり実 態調査	—	
ライフステージごとの指標			神戸市		神戸市		国
			策定時	データソース	現状値	データソース	H34 目標値
妊娠期	妊婦歯科健康診査の受診率	妊婦	31.2%	H24 妊婦歯科 健康診査	34.3%	H29 妊婦歯科 健康診査	—
乳幼児期	むし歯を持つ人の割合	3歳児	15.7%	H24 3歳児健康 診査	12.1%	H29 3歳児健康 診査	10%
	不正咬合のある者	3歳児	22.6%	H24 3歳児健康 診査	22.3%	H29 3歳児健康 診査	10%
学齢期	むし歯を持つ人の割合	6歳児	43.9%	H24 学校保健統 計	37.6%	H29 学校保健統計 (速報値)	—
		12歳児	36.8%	H24 学校保健統 計	30.1%	H29 学校保健統計 (速報値)	35%
	1人平均むし歯数	12歳児	0.83本	H24 学校保健統 計	0.61本	H29 学校保健統計 (速報値)	1本
	歯肉に異常がある人の割合	中3	19.3%	H24 学校保健統 計	17.4%	H29 学校保健統計 (速報値)	20%
高3		35.2%	H24 学校保健統 計	21.8%	H29 学校保健統計 (速報値)		
若年期	歯肉に炎症所見を有する者の割 合の減少	18歳～ 20歳代	—	H28 神戸市ネットモ ニターアンケート	26.3%	H28 神戸市ネットモ ニターア ンケート	25% (20歳代)
壮年期	未処置を有する人	40歳	45.2%	H24 40歳総合健診 歯周疾患検診	39.6%	H29 40歳歯周病 検診	10%
	喪失歯のない人	40歳	88.8%	H24 40歳総合健診 歯周疾患検診	82.9%	H29 40歳歯周病 検診	75%
	24歯以上自分の歯を有する人	60歳	57.2% (55-64歳)	H23 市民1万人 アンケート	62.5%	H28 神戸市ネットモ ニターア ンケート	70%
高齢期	20本以上の自分の歯を有する人	80歳	37.6% (75歳以上)	H23 市民1万人 アンケート	51.9%	H28高齢者一般調査 (75-79歳)	50%
					44.0%	H28高齢者一般調査 (80-84歳)	
					37.3%	H28在宅高齢者実態調 査(75-79歳)	
					29.5%	H28在宅高齢者実態調 査(80-84歳)	
定期的に歯科健診、歯科医療を受けることが困難な者 における指標			神戸市		神戸市		国
			策定時	データソース	現状値	データソース	H34 目標値
障害者	障害者入所施設での定期的な歯科健診実施率	66.7%	H23 県の調査	69.2%	H28 県の調査	90%	
要介護高齢者	高齢者入所施設での定期的な歯科健診実施率	32.3%	H23 県の調査	33.3%	H28 県の調査	50%	

市内での取り組み

東灘区

(1) 平成 29 年度の実績

◆**歯の健康フェア(8020表彰式、イベント)** (6月4日)

御影クラッセ1階広場にて、8020表彰式、イベントを開催しました。

◆**食育フェアでの歯科保健啓発** (11月3日)

御影公会堂にて食育フェアが開催され、その中で歯科保健の啓発を行いました。

◆**区民健康講座での講話**

◆**子育てひろば出前健康講座での講話**

◆**ふれあい給食会・ふれあいサロンでの講話**

◆**東灘区ケアマネジャー研修会での講話**

◆**大学生無料歯科健診**

東灘区歯科医師会が灘区歯科医師会・中央区歯科医師会・須磨区歯科医師会と協働で、大学生無料歯科健診を実施しました。4月～7月に、区内の大学生を対象に無料で歯科健診を行い、約78名の大学生が受診しました。

(2) 平成 30 年度の取り組み

◆**歯の健康フェア(8020表彰式、イベント)** (6月3日)

御影クラッセ1階広場にて、8020表彰式、イベントを開催しました。

◆**食育フェアでの歯科保健啓発** (11月3日)

御影公会堂にて食育フェアを開催し、その中で、歯科保健の啓発を行います。

◆**区民健康講座での講話**

◆**子育てひろば出前健康講座での講話**

◆**ふれあい給食会・ふれあいサロンでの講話**

◆**東灘区ケアマネジャー研修会での講話**

◆**大学生無料歯科健診**

東灘区歯科医師会が、灘区歯科医師会・中央区歯科医師会・須磨区歯科医師会・垂水歯科医師会と協働で、大学生無料歯科健診を実施します。4月～7月に区内の大学生を対象に、無料で歯科健診を行います。

灘 区

(1) 平成 29 年度の実績

◆歯の健康の啓発・相談

- ・子育てフェスタ☆なだ（10月28日）六甲道南公園 雨天のため中止
お口のなんでも相談・おさかな釣り（公園内歯科ブース）
- ・なだ桜まつり（4月1日）都賀川公園 約15,000人参加
健康・葉・歯の個別相談、啓発（灘区民ホール）
- ・灘ふれあい秋まつり（10月14日）都賀川公園、約10,000人参加
健康・葉・歯の個別相談、啓発、（灘区民ホール）

◆歯科相談

- ・歯科医師会子育て相談会（偶数月指定の木曜）、（6回/年）

◆灘区歯科医師会マップの配付

- ・母子健康手帳交付時、1歳6か月児・3歳児歯科健診時に配付 約3,500人/年
- ・さくら塾（多職種連携勉強会）にて配付（9月16日）

◆その他の取り組み

- ・介護者の会（介護者応援プロジェクト）（8月9日、10月10日、12月13日、2月28日）相談、意見交換
- ・大学生の無料歯科健診（4～7月）
全14校、灘区・東灘区・中央区・須磨区歯科医師会で合同実施
- ・認可外保育園での歯科健診（1園）
- ・講話と歯科相談
のびやかスペースあーち（神戸大学大学院サテライト施設）（4回/年）
まつぼっくり（神戸松蔭女子学院大学親子フリースペース）（4回/年）
- ・頑張りすぎない介護を応援する講演会（2月10日）、六甲道勤労市民センター
個別相談、啓発
- ・なだパパマママップ（2017年版）に歯科医院30か所掲載。（1歳6か月・3歳児
健診出務歯科クリニック）

(2) 平成 30 年度の取り組み

引き続き、区と灘区歯科医師会などで連携して、各種事業を継続中。

◆歯の健康の啓発・相談

- ・子育てフェスタ☆なだ（10月27日予定）六甲道南公園、個別相談、催し
- ・なだ桜まつり（4月7日）都賀川公園、個別相談、啓発（灘区民ホール）約15,000人
- ・灘ふれあい秋まつり（10月13日予定）都賀川公園、個別相談、啓発（灘区民ホール）

◆歯科相談

- ・歯科医師会子育て相談会（4回/年）予定
- ・兵庫県歯科衛生士会子育て相談会（2回/年）予定

◆灘区歯科医師会マップの配付

- ・さくら塾（多職種連携勉強会）にて配付（6月23日）

◆その他の取り組み

- ・大学生の無料歯科健診（4～7月）、全14校、灘区・東灘区・中央区・須磨区・垂水区歯科医師会で合同実施
- ・認可外保育園での歯科健診
- ・講話と歯科相談（のびやかスペースあーち、まつぼっくり）

中央区

(1) 平成 29 年度の実績

◆げんきッズまつり（10月27日）232人参加

勤労会館8階（体育館）にて、区内の子育てに関連する施設、機関が集まって、子育て支援情報や施設情報の提供を行い、こどもの遊びの機会の提供を行いました。中央区歯科医師会、歯科衛生士会による相談と虫歯予防啓発パネルシアターを実施しました。

◆いい歯の日フェア（11月12日）デュオ神戸にて開催。386人参加

中央区歯科医師会主催の「いい歯の日フェア」に参加。歯科相談、口臭テスト、歯磨き相談、細菌数測定、フッ化物洗口体験、親子歯磨き相談などが行われました。

◆あんすこ歯科医

中央区内7箇所のあんしんすこやかセンターに、センター職員が直接、歯科医師と相談できるように、歯科医師会の推薦にて各センターに担当歯科医師を選出しています。

◆ハートフルフェスタ（12月3日）

中央区歯科医師会が健康講演会『「オーラルフレイル？」～一生、お口で食べましょう！』を実施し、歯科保健啓発を行いました。

◆大学生無料健診（4月から7月）

中央区歯科医師会が大学生無料歯科健診を実施して、20名の大学生が受診しました。

◆歯科医院マップの配布

中央区歯科医師会が作成した同マップを母子健康手帳に挿んで配布を始めました。

◆区歯科医師会主催事業

開催日	内 容	参加人数
2月1日	区歯科医師会とケアマネジャーとの交流会	26人
2月21日	区地域包括支援センター介護職員口腔ケア研修会	13人
	給食サービス実施時の口腔ケアの実施 13回実施	567人

(2) 平成 30 年度の取り組み

◆いい歯の日フェア（11月11日）開催予定

歯科相談、口臭テスト、細菌数測定、フッ化物洗口体験、歯磨き相談など実施予定。

◆あんすこ歯科医（29年度と同じ）

◆大学生無料健診

中央区歯科医師会が、4月から7月に大学生無料歯科健診を実施します。

◆歯科医院マップの配布

中央区歯科医師会が作成した同マップを母子健康手帳に挿んで配布します。

◆区歯科医師会主催事業

開催日	内 容
1月予定	区歯科医師会とケアマネジャーとの交流会
2月予定	区地域包括支援センター介護職員口腔ケア研修会
	給食サービス実施時の口腔ケアの実施

兵庫区

(1) 平成 29 年度の実績

歯科に関する健康情報を区民に身近に提供できるよう、兵庫区歯科医師会が地域に根付いた歯科保健活動を行いました。

◆ふれあい兵庫 福祉健康フェア・区民健康のつどい

10月14日(土)に開催した「区民健康のつどい～老後の生活を考える」(主催：区医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会、区訪問看護ステーション連絡会、区医療介護サポートセンター)において、劇「一緒に考えよう！この町で暮らし続けるために」を上演し、劇終了後には相談ブースを設けました。

◆兵庫区歯科医師会「歯科健康講座」

地域福祉センター等で開催するひとり暮らし高齢者を対象とした「ふれあい給食」において歯科ミニ講話をしました

- ・「ふれあい給食」(年間10回、約450人参加)



区民健康のつどい

(2) 平成 30 年度の取り組み

歯科に関する健康情報を区民に身近に提供できるよう、兵庫区歯科医師会が地域に根付いた歯科保健活動を行います。

◆区民健康のつどい

10月20日(土)に兵庫公会堂にて開催される「区民健康のつどい」(主催：区医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会、区訪問看護ステーション連絡会、区医療介護サポートセンター)にて、劇「エンディングプラン：私があなたに伝えておきたいこと(仮)」を上演し、劇終了後には相談ブースを設ける予定です。

◆兵庫区歯科医師会「歯科健康講座」

地域福祉センター等で開催するひとり暮らし高齢者を対象とした「ふれあい給食」において歯科ミニ講話を実施します。

- ・「ふれあい給食」(年間7回、約320人参加(予定))。

北 区

南北に長い北区の地域特性に応じて、北区歯科医師会が中心となって、地域に密着しながら歯科からの健康づくりを発信しています。

(1) 平成 29 年度の実績

◆ 「いい歯の日」歯の健康フェア (11月5日)

ショッピングセンターにて歯の健康フェアを開催しました。歯の健康相談、歯並び相談、フッ化物洗口体験、歯医者さんに変身コーナー、子どもたち向けの紙芝居を行い、多くの親子連れで賑わいました(参加者 263名)。

◆ 区民向けフォーラム (3月24日)

北区民センター・ありまホールにて、区民フォーラム「裕次郎さん、認知症サポーターになる！」と題して、北区の医療介護関係者が総勢 70 名で上演を行いました。歯科医師会からは 3 名が劇に出演し、認知症予防における歯の大切さなどをわかりやすく伝えました。

◆ 高齢者口腔ケア各種対策

高齢者向けの口腔ケア講演会やふれあい給食会への出前トーク、また介助者向けの講演会を 5 回実施しました。

- ・介護予防キャンペーン (11月5日) : 「いい歯の日」健康フェアと同時開催。口腔ケアの講演と健口体操の実演。約 20 名参加。北区本区あんしんすこやかセンターと共催。
- ・高齢者向け口腔ケア講演会 (給食会出前トーク 1 回)
- ・北区歯科医師会と神戸市ケアマネジャー連絡会北区部署との交流会 (11月18日)
- ・介助者向け実習付口腔ケア講演会 (2月28日) : しあわせの村研修室にて実施。
- ・北区地域包括ケア推進総括協議会総会分科会「在宅診療キット実演」(3月17日) : ホテルフルーツ・フラワーにて、医療介護に携わる参加者を対象に実施。

◆ 大学生のための歯の健康チェック (12月1日)

神戸親和女子大学にて歯の健康フェアを開催しました。歯科相談、矯正相談、歯磨き指導、口臭チェック、歯の色診断、ホワイトニング相談などを行いました(参加者 46 名)。



北区地域包括ケア推進総括協議会

(2) 平成 30 年度の取り組み

◆ 「いい歯の日」歯の健康フェア（11月）

区民に口腔ケアの大切さを啓発します。

◆ 高齢者口腔ケア各種対策

高齢者を対象に、口腔ケアの重要性、健口体操、義歯の取り扱いなどについての講演会や講話を地域のご希望に合わせて、無料で実施します。

- ・口腔ケア講演会（8月23日）
- ・介護予防キャンペーン（11月）：健口体操・介護相談コーナー設置：「いい歯の日」健康フェア同時開催
- ・北区歯科医師会と神戸市ケアマネジャー連絡会北区部署との交流会
- ・介助者（施設職員等）向け実習付き口腔ケア講演会（2月予定）：ありまホール

◆ 大学生のための歯の健康チェック（12月予定）

神戸親和女子大学にて実施予定。

◆ 区役所来庁者向け啓発

北区役所・北神支所市民課の待合いスペースに設置されているモニターを活用し、神戸市歯科医師会と神戸市で製作した「かかりつけ歯科医を持ちましょう」の動画で啓発を実施します。



大学生の「歯の健康フェア」

長 田 区

(1)平成 29 年度の実績

長田区では、乳幼児健診のむし歯有病率が高く、妊婦歯科健診の受診率は低くなっています。その状況の改善のため、長田区歯科医師会をはじめ、神戸常盤大学、県立総合衛生学院などの区内の歯科保健関係機関と協働にて、むし歯予防の取り組みを行いました。

また、成老人を対象に、歯と口の健康や介護予防の意識啓発等に取り組みました。

①平成 29 年度 ハッピーむし歯予防事業

◆長田区子どものむし歯予防のための検討会議

関係機関との中長期的な対策を話し合う会議を開催しました。

第 1 回 平成 29 年 7 月 3 日(月)、第 2 回 平成 30 年 2 月 5 日(月)

◆未処置率の低下、むし歯予防のための活動

保育所(園)1~5歳児クラスのむし歯未処置の保護者を対象に、治療勧奨をしました。歯科健診で未処置歯がある 299 人のうち、受診確認率 62.9% (平成 29 年 12 月現在)。

◆各関係機関による歯磨き指導を通じた、むし歯予防啓発

学校、保育所、保育園、児童館などでの健康教育を行いました。

健康教育の実施状況		
	実施箇所数	全体数
子育てサークル	6	18
児童館	8	10
保育所	9	9
保育園	2	3
認定こども園	7	9
幼稚園	4	7
小学校	13	13



子どもを対象としたむし歯予防啓発イベントを実施しました。

- ・ながたっ子祭 平成 29 年 10 月 8 日 269 人参加
- ・カンガルーフェスタ 平成 29 年 12 月 8 日 286 人参加
- ・ひと・まち出会いフェスティバル 平成 29 年 3 月 1 日 100 人参加

◆妊婦のむし歯予防の啓発

妊婦歯科健診の PR 強化として、長田区歯科医師会が作成したリーフレットを母子健康手帳交付時に配布しました。妊娠 16 週以降のほぼ全数にあたる妊婦に対して、ハガキや電話による受診勧奨を行いました。

②成老人を対象とした歯とお口の健康や介護予防の意識啓発等をめざした講演会等を実施

◆三師会保健医療介護フォーラム開催 (平成 29 年 12 月 17 日) 参加者 103 人

「糖尿病」をテーマに開催。歯科からみた糖尿病について、講演がありました。

◆まちの文化祭の参加 (平成 29 年 11 月 26 日)

長田区内の各種団体が参加して神戸市地域人材センターで行われた「まちの文化祭」に長田区歯科医師会が参加して、パネル展示と歯科相談を実施しました。

◆長田区災害医療フォーラム (平成 30 年 2 月 10 日) 参加者 85 人

災害時の医療と福祉の連携をめざして、災害時のいのちを守る取り組みを考える災害医療フォーラムを三師会・区・地域の関係者とともに開催しました。

◆「認知症ライフサポート研修」(平成 29 年 11 月 2 日) 参加者 37 人

専門職による多職種連携のための研修を、長田区三師会(医師会・長田区歯科医師会・長田区薬剤師会)や区内の認知症支援に携わる専門職とともに開催しました。

◆「脳のすこやか健康手帳」の配布

認知症予防につながる口腔機能維持向上に関する内容を盛り込んだ、認知症予防や早期発見及び認知症患者の在宅生活を支援するための冊子「脳のすこやか健康手帳」を、認知症専門医や三師会はじめ地域の様々な支援関係機関や認知症の人と家族の会の方等と協力して作成し、認知症予防の取り組みが必要な方等、希望される方へ、区内の医療機関、歯科医院、薬局等地域の支援関係機関を通じて配布しました。



脳のすこやか健康手帳

◆認知症ケアネット(認知症支援の情報冊子)の配布

認知症の相談窓口や認知症予防、健康づくり事業、保健福祉サービス等を盛り込んだ認知症の方を支援する地域情報冊子を長田区三師会はじめ地域の関係機関と作成し、医療機関・歯科医院・薬局・あんしんすこやかセンター等に配布しました。

(2) 平成 30 年度の取り組み

①平成 30 年度 ハッピーむし歯予防事業計画

◆長田区子どものむし歯予防のための検討会議

関係機関と計画の見直しを行います。第 1 回平成 30 年 9 月頃、第 2 回平成 31 年 2 月頃

◆未処置率の低下、むし歯予防のための活動

保育所(園)にて、むし歯の未処置者に受診勧奨します。

◆各関係機関による歯磨き指導を通じた、むし歯予防啓発

子育て支援サークルでのむし歯予防啓発を行います。学校、保育所、保育園、児童館などでの健康教育を行います。

◆子どもを対象としたむし歯予防啓発イベント

カンガルーフェスタ 12 月 8 日、ながたっ子祭 10 月 8 日、ひと・まち出会いフェスティバル 3 月頃、よーせてランド 4 月 13 日・7 月 5 日・8 月 30 日・2 月 12 日

◆妊婦のむし歯予防の啓発

妊婦歯科健診の PR 強化として、妊娠週数 16 週以降の妊婦にハガキや電話にて受診勧奨を行います。

② 成人を対象とした歯とお口の健康や介護予防の意識啓発等をめざして講演会等を実施

◆三師会医療フォーラム開催(平成 30 年 10 月開催予定)

三師会や長田区医療介護サポートセンターと連携して、医療フォーラムを開催します。

◆まちの文化祭の参加(平成 30 年 11 月開催予定)

長田区内の各種団体が参加して神戸市地域人材センターで行われる「まちの文化祭」

に歯の健康に関する啓発のため、長田区歯科医師会が参加予定です。

◆**災害医療フォーラム in 長田**（平成 30 年度 開催予定）

熊本地震等の災害時支援における医療活動報告や、区民の防災や発災時の備えに関する意識啓発に三師会・区・地域の関係者とともに取り組む予定です。

◆**「認知症ライフサポート研修」**（平成 30 年度 開催予定）

専門職による多職種連携のための研修を、長田区医師会・長田区歯科医師会・長田区薬剤師会や区内の認知症支援に携わる専門職とともに開催します。

◆**「脳のすこやか健康手帳」の配布**

「脳のすこやか健康手帳」を認知症予防の取り組みが必要な方等、希望される方へ、区内の医療機関、歯科医院、薬局等地域の支援関係機関を通じて配布します。

◆**認知症ケアネット(認知症支援の情報冊子)の配布**

認知症の相談窓口や認知症予防、健康づくり事業、保健福祉サービス等を盛り込んだ認知症の方を支援する地域情報冊子を長田区三師会はじめ地域の関係機関と作成し、平成 30 年 月に開設された医療・介護サポートセンターをはじめ、医療機関・歯科医院・薬局・あんしんすこやかセンター等に配布しています。

③**介護予防事業**

地域のふれあい給食会において、長田区歯科医師会の歯科医師による口腔ケアに関する講話を実施しています。

北町ふれあい給食会（北町ふれあいのまちづくり協議会）

二葉ふれあい給食会（二葉地域福祉センター）

グリーンふれあい給食会（大日丘地域福祉センター）

駒ヶ林ふれあい給食会（二葉地域福祉センター）

二久塚ふれあい給食会（長楽地域福祉センター）

④**長田区歯科医師会とケアマネジャーとの合同研修会**

オーラルフレイルについて、高齢者のお口の特徴、歯科衛生士が行う口腔ケア、歯科治療や口腔ケアの必要性についてなどを、主な研修内容としています。

須磨区

(1) 平成 29 年度の実績

◆須磨区医療フォーラム(平成 29 年 5 月 28 日) 参加者 157 人

三師会が「よくわかる高脂血症 ～コレステロールは敵？味方？～」をテーマに実施し、歯科医師会は「高脂血症」と「歯周病」の関係について講演しました。

◆歯の健康フェスタ

須磨区歯科医師会が、いい歯の日(11月8日)の関連イベントとして実施しました。

このイベントを通じて、毎日の歯の手入れや定期的な歯科検診の受診などの歯のケアについて説明を行い、歯を健康に保つことの大切さをPRしました。

◆大学生無料歯科健診(平成 29 年 4 月 3 日～7 月 21 日)

須磨区歯科医師会が、平成 29 年度から大学生無料歯科健診を始めました。

◆口腔ケアの研修会

地域団体のご要望により歯科医師会が歯科保健についての啓発活動を実施しています。歯科保健に関する研修会を実施しました。(10月)

◆事業者対象の講演会 参加者 48 人

訪問介護事業者連絡会(平成 29 年 8 月 31 日)において、講演「口腔ケアについて」および口腔ケア実技指導を実施しました。

◆認知症ケアネットの配布

認知症の方やご家族・支援者の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、区が作成しました。認知症の進行に応じてどのような医療・介護サービスを受ければよいかという一覧表及び認知症に関する様々な情報を掲載しています。相談に来られた方やご家族・支援者及び区内の医療機関、歯科医院、薬局等地域の関係機関にあんしんすこやかセンターから配布中です。

(2) 平成 30 年度の取り組み

◆須磨医療フォーラム(平成 30 年 5 月 20 日) 参加者 138 人

三師会が「健康長寿の合言葉「フレイル予防」～フレイルって何？それを防ぐには？～」をテーマに実施し、歯科医師会はオーラルフレイルの症状、対処方法などについて講演しました。

◆歯の健康フェスタ

須磨区歯科医師会が、いい歯の日(11月8日)にあわせて、11月11日(日)に須磨海浜水族園において、歯を健康に保つことの大切さを啓発するイベントを行う予定です。

◆大学生無料歯科健診

須磨区歯科医師会が、4月2日から7月20日まで大学生無料歯科健診を行います。

◆口腔ケアの研修会

歯科医師会が歯科保健についての啓発活動の一環として、高齢者・障害者施設や地域団体等のご要望で歯科保健に関する研修会を実施します。

◆地域連絡会におけるこうべ歯と口の健康づくりプラン(第2次)概要版の配付 **新規**

地域連絡会において、こうべ歯と口の健康づくりプラン(第2次)概要版を地域の子育て支援の関係者へ説明し、配付する予定です。

垂水区

(1) 平成 29 年度の実績

歯科医師会と協働して、歯科口腔保健の啓発を行いました。

◆たるみ健康セミナー

開催日	演 題	参加人数
11 月 16 日	さあ、はじめよう！予防歯科	38 人

区歯科医師会の講師が、歯の健康について講演を行いました。

◆めざせ 8020！たるみいい歯まつり 平成 29 年 10 月 15 日（日）

口から始まる健康づくり

歯科相談・要介護者の口腔ケアグッズの展示、歯・口の健康に関する図画・ポスターの展示、子どもの歯医者さん、歯ブラシ釣りゲーム、口腔ケア Q&A などを実施しました。

◆認知症ライフサポート研修

専門職による多職種連携のための研修を、垂水区医師会・垂水区歯科医師会・垂水区薬剤師会や区内の認知症支援に携わる専門職とともに開催しました。

◆認知症ケアネット(認知症の方のための支援情報集)の配布

認知症の症状、認知症の進行と対応、相談窓口やサービス、脳を刺激するお口の活用 10 か条等を盛り込んだ認知症の方のための支援情報集を垂水区三師会、あんしんすこやかセンターと作成し、医療機関・歯科医院・薬局・あんしんすこやかセンター等に配布しました。

◆区地域ケア会議

高齢者およびその家族が住みなれた地域で暮らし続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築にむけ、垂水区三師会ははじめ関係機関の参加する地域ケア会議を開催しました。

◆その他

垂水区歯科医師会作成の「神戸市垂水区 わたしの街の歯医者さん」を乳幼児健診の個別案内に同封している。

(2) 平成 30 年度の取り組み

歯科医師会と協働して、歯科口腔保健の啓発を継続実施します。

◆たるみ健康セミナー

区歯科医師会の講師が、歯の健康について講演を行います。(平成 29 年秋 開催予定)

◆めざせ 8020！たるみいい歯まつり (平成 30 年秋 開催予定)

◆認知症ライフサポート研修 (平成 30 年度 開催予定)

◆区地域ケア会議 (平成 30 年度 開催予定)

◆大学生無料歯科健診 **新規**

垂水区歯科医師会が、平成 30 年度（4 月 1 日から 7 月 31 日）に大学生無料歯科健診を始めました。

◆その他

垂水区歯科医師会作成の「神戸市垂水区 わたしの街の歯医者さん」を乳幼児健診の個別案内に同封している。

西 区

(1) 平成 29 年度の実績

西区歯科医師会が、広く区民対象に歯科保健の啓発を行うとともに、高齢者を対象とした出張講演会を開催しました。

◆西区健康・福祉フェア 平成 29 年 10 月 7 日 (土)

西区社会福祉協議会・西区主催の「西区健康・福祉フェア」において、区歯科医師会の健康相談会で歯科相談等を含め啓発活動を行いました。

歯科相談 (10 人)、咀嚼力テスト (188 人)、ブラッシング啓発 (230 人)

◆給食サービス実施時の口腔ケア出張講演会

地域での交流を主な目的として、ひとりぐらしの高齢者を対象に、地域の自治会・婦人会・ボランティアが実施する「ふれあい給食会」に出向き、口腔ケアに関する講演会を行いました。区内 14 か所 626 人



西区健康・福祉フェア



給食サービスでの口腔ケア出張講演会

(2) 平成 30 年度の取り組み

◆西区健康・福祉フェア 平成 30 年 10 月 6 日 (土)

西区社会福祉協議会・西区主催の「西区健康・福祉フェア」において、区歯科医師会の健康相談会で歯科相談等を含め啓発活動を行います。

◆給食サービス実施時の口腔ケア出張講演会

地域での交流を主な目的として、ひとりぐらしの高齢者を対象に、地域の自治会・婦人会・ボランティアが実施する「ふれあい給食会」に出向き、口腔ケアに関する講演会を行います。区内 9 か所 400 人 (予定)

◆大学生無料歯科健診

兵庫県歯科医師会との連携で、大学生無料歯科健診を行います。

全市的な取り組み

○公益社団法人 神戸市歯科医師会では、以下の事業に取り組んでいます。

(1) 平成29年度の実績

◆歯周病検診(40歳・50歳)・妊婦歯科健診・後期高齢者(75歳) 歯科健診

40歳：1,542件、50歳：1,607件、
妊婦：4,119件、75歳：1,270件

◆第14回こうべ食育フェア 6月17日(土)

デュオドーム(JR神戸駅前地下街)、参加者：292人

◆第28回こうべ福祉・健康フェア 10月1日(日)

しあわせの村 体育館

クイズコーナー：530人、体験コーナー：183人

◆訪問歯科診療・口腔ケア推進事業

◆市内の保育所(園)、幼稚園、認定こども園におけるフッ化物洗口事業

◆口腔がん検診 **新規**



第14回こうべ食育フェア



第28回こうべ福祉・健康フェア

(2) 平成30年度の取り組み

◆歯周病検診(40歳・50歳)・妊婦歯科健診・後期高齢者(75歳) 歯科健診

◆第15回こうべ食育フェア 6月23日(土)

スペースシアター、デュオドーム、採光ドーム(JR神戸駅前地下街)

◆第29回こうべ福祉・健康フェア 10月7日(日) しあわせの村 体育館

◆市内の保育所(園)、幼稚園、認定こども園におけるフッ化物洗口事業

◆訪問歯科診療・口腔ケア推進事業

◆口腔がん検診

公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会では、以下の事業に取り組んでいます。

(1) 平成 29 年度の実績

◆「歯っぴいスマイルフェスティバル」

自分で守ろう、私の歯

日時：平成 29 年 6 月 4 日（日）11：00～15：00

場所：神戸市立王子動物園 動物園ホール

対象者：王子動物園来園者（低年齢児の親子）

入場者数：552 人（大人 282 人、子ども 270 人）

事業内容：歯科健診・歯科相談・口腔衛生指導・フッ化物体験・唾液リスクテスト（RD テスト・CAT）
歯科衛生士になってみよう（写真撮影）・ゲームコーナー・喫煙と健康について相談・指導（兵庫県看護協会）・展示とスライドによる啓発



歯っぴいスマイルフェスティバルちらし



フェスティバルの様子

◆障害者（児）施設への歯科保健指導

平成 29 年 10 月～11 月 6 施設 6 回実施 235 人

こうべ市歯科センターより依頼 20 回実施

◆幼稚園、小中学校への歯科保健指導

神戸市歯科医師会より依頼 28 回実施

◆多職種、および市民への歯科保健指導 2 回実施

(2) 平成 30 年度の取り組み

◆「歯っぴいスマイルフェスティバル」

日時：平成 30 年 6 月 3 日（日）11：00～15：00

場所：神戸市立王子動物園 動物園ホール

対象者：王子動物園来園者（低年齢児の親子）

入場者数：439 名（大人 231 名 子ども 208 名）

事業内容：歯科健診・歯科相談：157 名 口腔衛生指導：206 名
フッ化物体験：161 名 むし歯リスクテスト：166 名
歯科衛生士になってみよう（写真撮影）：幼児・児童 多数
ゲーム・クイズコーナー：多数（359 名） 紙芝居：多数（11 回上演）
兵庫県栄養士会（栄養相談）：209 名



歯っぴいスマイルフェスティバルちらし

◆障害者（児）施設での歯科保健指導

平成 30 年 10 月～11 月 5 施設 5 回予定

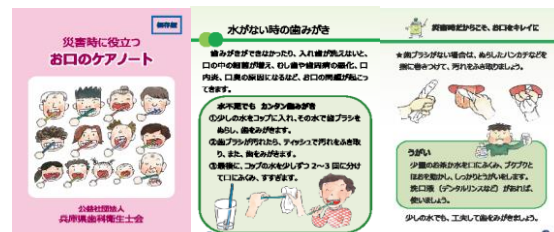
◆幼稚園、小中学校での歯科保健指導

神戸市歯科医師会より依頼 28 回予定

◆多職種、および市民への歯科保健指導

◆高齢者施設での口腔ケアなど

◆災害時に向けた歯科保健指導



「災害時お口のケアノート」パンフレット

「災害時に役立つお口のケアノート」を使った歯科保健指導 10 回 200 部